

しまかぜ

笠岡諸島NEWS

第 296 号

2026.8.1

笠岡諸島情報
ネットワーク会議



6 島のスケジュール

8 月 13 日 (木) 納涼祭 (北木西)

8 月 14 日 (金) 盆踊り (高島) (飛島) 納涼祭 (高島)

8 月 13 日 (木) 14 日 (金) 盆踊り (真鍋・本浦地区)

8 月 13 日 (木) ~ 16 日 (日) 盆行事・迎え火から灯籠流し (白石)

8 月 14 日 (金) 15 日 (土) 盆踊り (六島)



呉市視察研修 (平和について考える)

呉市公式キャラクターの呉氏と呉氏 Jr.

真鍋島



6 月 19 日 (金)、視察研修で呉市を訪れました。リニューアル・オープンした大和ミュージアムをはじめ、てつのくじら館や長迫公園も見学しました。大和ミュージアムでは、10 分の 1 の戦艦「大和」が存在感を放ち、歴史展示室では明治以降の歴史や戦艦「大和」の建造とその歩みが分かりやすく紹介されていました。乗組員が家族に宛てた手紙や遺書は多くの人の心を揺さぶり、平和の尊さを深く考えさせられました。てつのくじら館では実物の潜水艦内部を見学し、掃海や潜水艦の役割について理解を深めました。最後に長迫公園 (旧呉海軍墓地) を訪れ、「戦艦大和戦死者之碑」に刻まれた名簿の方々へ祈りを捧げました。

「白石踊」鑑賞体験ツアー・夕日の浜辺で開催 ～リサイクルキャンドルの灯りに浮かぶ切り絵でお見送り～



白石



6 月から公民館でも練習を始めている白石踊。
7 月 11 日 (土) 県内外から大勢の参加者の皆さんを迎え、夕日のきれいな時間に合わせて衣装を着けた踊りが披露されました。公民館では棉づくりからのご縁で、NPO 法人タブラサの若いメンバーが、リサイクルキャンドルを使い「白石踊切り絵キャンドルロード」での優しい灯りでお見送りをセッティングしてくれました。

六島からのライトアップされた瀬戸大橋



六島からライトアップされた美しい瀬戸大橋が見えます。直線距離で 30 キロメートル前後ですが、遮るものがない瀬戸内海越しに、美しくきらめく光のラインが肉眼で見えるのは、このエリアならではの贅沢です。今回、ベストショット写真を共有させていただくことができました。夕暮れ時から夜にかけ空の色が温かみのある黄色から、深い青のグラデーションへと移り変わり大橋のライトアップの色まで微妙に変わったように感じられます。ドラマチックで非常に印象的です。夜、海上には大小さまざまな船が眩しい光を放ちながら行き交う中、輝きを放ち続ける大橋の存在は特別です。

島で過ごす穏やかな日々の中には、毎日新しい発見や感動があふれています。写真だけでは伝えきれない、空気感や波の音、そしてこの美しい景色を、ぜひみなさんも現地を訪れて体感してみてください。ここ六島があなたを待っています。



北木西

『北木小学校運動場草刈り』

7月14日(火)7:00 より、北木小学校運動場の草刈りです。7月中旬なのに、例年より暑い日が続いている今日この頃。男性4名、女性の方5名で草刈りをやり始めました。北木小学校は休校となりましたが、“文化祭”や“グラウンドゴルフ”を行えるようにするために、今回の“草刈りは館長のお力添えと皆さんのご協力によるものです。「主事として大変ありがたく思います」。私も微力ながら参加、雑草を集めゴミ袋に入れる作業です。最初は張切っていたのですが、中腰の姿勢が影響したのか、段々と中腰がつかなくなり、心の中で「限界が来たかも💦」とつぶやき…でも、気分は爽快！！皆さんはテキパキと手や足を動かし、次々と場所を移動しながら綺麗にしていくのを見ると嬉しく思います。 昼2時ごろ終わったよー写真撮りに来てーと連絡を受け。えっ！もう終わったのと思いながら、ワクワク気分で小学校へ向かいました。

夏祭りの準備～しめのべ編～

北木



支え、ねじって藁の束を調整しながら編みこむ
皆が声を掛け合い連携して大きなしめ縄を作ります！！

7月12日(日)、諏訪神社の夏祭りに向けて【しめのべ】という作業を行いました。聞きなれない言葉だと思いますが、その前週に【わらすずり】と言って藁の余分な部分を取り除く作業を行い、このしめのべはその藁を束にしてしめ縄を作っていく作業のことを言います。境内で藁を束にする作業を行い、本殿では男性陣が束にした藁を太さを見ながらねじったり足したりして最終的に左右引っ張りながら床に叩きつけて締め上げます。フランス人の方も参加されて異文化の行事を楽しんでおられたようで何より！翌週の夏祭りの当日に向け準備は着々と進んでいました(^▽^)



笑顔と活気あふれる2日間！

～嶋神社夏祭り～



7月18日・19日、嶋神社夏祭りが盛大に開催されました。宵宮(18日)では、夜の海に提灯の灯りがやさしく揺れるお召し船が浮かび、幻想的で息をのむ美しさでした。本宮(19日)では、男衆の熱い活気が島中に響き渡り、神輿が豪快に回されました。各地区の御旅所では「まだ神輿を返したくない」と押し引きを繰り返す熱気あふれる攻防が繰り広げられました。また、夏の暑さに負けず女性陣も休憩や昼食の準備、片付けなどで担ぎ手をしっかりと支えていました。島民のお孫世代も多く帰省しており、島全体が情熱と笑顔に包まれる賑やかな2日間となりました。

済生丸で健康診断

高島



看護専門学校実習生

7月9日(木)高島港に済生丸が着岸し(胸部レントゲン・後期高齢者検診・がん検診)等の健診が済生丸船内で行われました。島外に出ることなく健診が出来るので、とても有難い事業です。今年度も済生会看護専門学校から実習生さんが来られ健診される方のサポートをされていました。多くの方が健診され受付、誘導等に保健師さん、地元愛育委員もグリスロでの送迎で忙しい半日となりました。

☀️☀️暑い日が続いています体調には十分に気を付けて下さい☀️☀️